

栗原市（花山幼稚園・小学校）の取組紹介

Q1 幼小の連携・接続のためにどんなことに取り組みましたか？

幼児と児童の交流だけにとどめず、保育者と教員の相互理解のため交流し、それぞれの『よさ』を知ること意識しています。

- ・校長、園長相互の職員会議への参加（月一回）
- ・校長（講師）来園による出前授業（保育）
- ・園だよりと学校だより、校長だよりのやりとり
- ・合同研修会、校内研修の合同開催
- ・相互の保育参観、授業参観（指導主事訪問、保育・授業参観）
- ・情報共有と情報交換



Q2 取組の成果はいかがですか？

- 互いに「保育」「教育」に関心を持ち、聞きたいことが聞ける、話せる関係性が深まりました。
- 垣根なく行き来する関係性は、幼児・児童の育ちや学びをつなぐ役割を知り、共に考えることにつながっています。
- 幼児・児童が、保育者・教員に親しみをもって関わるようになりました。

Q3 接続期カリキュラムの作成に、いつから取り組んでいますか？

令和4年度から、新たな接続期カリキュラムの作成に取り組みました。当初は、カリキュラムのやり取りをし、互いに確認し合うことから始めました。

Q4 誰がどのようにしてカリキュラムを作っているのですか？

カリキュラムの作成と見直しの手順は以下のとおりです。

- ① 幼稚園（長）が幼児の実態と小学校のグランドデザイン（経営方針）をもとに、アプローチカリキュラムを作成し、小学校（長）へ提出
- ② 小学校（長）がスタートカリキュラムを作成、園に提出
- ③ 小学校（長）が、入学児童の実態に合わせたスタートカリキュラムを編成
- ④ 幼稚園（長）が、次年度に生かすアプローチカリキュラムの点検と修正

Q5 活用に当たって配慮していることはどんなことですか？

- ◇カリキュラムは互いに作って終わりにせず、内容に対し振り返り、幼児・児童の実態に合わせ必要な部分を見直し、毎年度、更新するようになっています。
- ◇5歳児担任や1年生担任のみならず、園と小学校全体、地域の実情に合わせた接続に取り組み、継続していく関係性を大事にしたいと考えています。

幼小連携・接続のための取組

普段から幼児と児童、教員同士の交流が多く、「学びの土台づくり」に向けた、幼児・児童の共通理解、指導の一貫性を目指した「合同職員会議」「相互保育・授業参観」「合同研修会」等を行っています。養護教諭は幼小兼任で、幼児・児童両方の健康状態を把握し、見守っています。

1 カリキュラムの共有

教育計画はもちろん、「アプローチカリキュラム」「スタートカリキュラム」等お互いのカリキュラムを共有し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を継承する幼児期からの切れ目のない教育を目指しています。

2 合同職員会議

月1回の職員会議には、互いの職員会議に園長、校長が参加し、情報共有を行います。

3 相互保育・授業参観

互いの保育・授業の様子を教員が参観し、参観の視点を示した「参観シート（カンファレンスシート）」に互いに気付いたこと・学んだことを記入し、意見交換をしています。

4 幼小合同研修会

幼小の教員が参加し、夏休みには「幼小中の接続を意識した学級づくり」（中学校も参加）について、冬休みには「造形的な見方・考え方を育てる形遊び・色遊び」の研修会を行いました。

令和5年度 花山幼稚園・花山小学校
幼小合同研修会 ワークショップ

研修会の様子・教員の声

造形的な見方・考え方を育てる形遊び・色遊び

（本日のワークショップの流れ・見通し）

- 体験・ワークショップ（50分） ※片付け含む
- 講義（10分） ※時間があるとき
 - 学習指導要領における図画工作科の目標と〔共通事項〕
 - 絵画指導の基礎・基本 「子供の絵の見方・考え方」
 - 指導助言 宮城県教育庁義務教育課 幼児教育推進班 主幹 指導主事 石田 雄一 先生

1 体験・ワークショップ
（体験・ワークショップのねらい）
「形遊び」「色遊び」に似た描画の体験を通じて、指導者自身が「絵に表すこと・遊び」の楽しさを味わい、『造形的な見方・考え方』を養い、児童・園児の今後の指導に生かす。

(1) 「つながるわごもわ」(形遊び) (20分)
【こちらで準備するもの】
・10×10cm程度の黒い紙
・輪ゴム
【各自用意するもの】
・色鉛筆（白）
◎黒い紙に白の色鉛筆でかく体験
白い紙に黒の色鉛筆でかくこと（日常）
◎黒い紙に白の色鉛筆でかく（非日常）
・何だか心地よい、新鮮な感覚
・線がくっきり、はっきり見えてくる

(2) 「いろいろな線と色で遊ぶ」(色遊び) (20分)
【こちらで準備するもの】
・オイルパステル
・A4コピー用紙
・ケント紙（10cm×14、8cm 葉書大）
・不定形にカットした画用紙
・割り箸ペン
・はさみ
・マスキングテープ（15mm幅）
・スティックのり
・ペーパーパワダー
・ウェットティッシュまたは手拭き雑巾
【各自用意するもの】
・鉛筆（サインをするとき）
◎線を交差させ、不定形の面に色を塗り重ねる体験
・クレヨンでも混色が可能で深みのある色になること ・「上手・下手」の概念から解放されること
（児童・園児と行う場合の工夫）
・紙のサイズ、大きさを変える ・描画材を変える ・複数的人数で共同制作をする
・この体験を発展させる ⇒ 「では、これを使って何をやってみたいかな？」「何ができるかな？」



見守りの仕方、子供への声の掛け方を学びました。（幼稚園）



「もっと続けたい！」という心地よさを感じました。（幼稚園）

「上手」に代わる言葉掛けの多さが分かった。（小学校）

幼稚園の先生方の発想のやわらかさに驚いた。（小学校）

描画材の使い方が分かり楽しかった。（小学校）

絵を見る視点がいろいろあって、勉強になった。（小学校）

小学校教諭による保育の実践例

豊かな自然環境の中にあり、散策、自然物との触れ合い、地域の方々との関わりが多い活動も特色の一つです。今年もりんご狩りやサツマイモの収穫をおこないました。りんごやサツマイモの収穫を喜ぶだけでなく、触ったり、嗅いだり、見たり、味わったり、話を聞いたりしながら感じることを表現した絵画活動を楽しませたいという願いから、小学校の校長による「量感画」（絵画表現）の出前保育を行いました。

『りんごの量感画を描こう』 令和5年9月25日(月)



りんごの花って知ってるかな？



なんか…りんごの甘くて酸っぱい匂いがしてきたぞ！



好きな色3つかあ～…どれにしようかな～♡

育ちのポイント
⑥思考力の芽生え ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

『サツマイモの量感画を描こう』 令和5年10月19日(木)



ぼこぼこもするよ？！



サツマイモさんに靴下をはかせないとね、靴下は何色にしようかな～



あま～い色は～どれにしようかな

育ちのポイント
⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

【保育者の感想・学びになったこと】

- 「りんごは赤いですね…」 「りんごは丸いね、そうね、」 などという、主導的な声掛けではなく、「最初は赤ちゃん（点）からすこし大きくなるよ～」 「だいじょうぶ、間違いはないよ」 「自分の好きな色を3つとって見て～」 など、子供が感じたこと、感じたままの感情を絵画表現にもっていく言葉掛けや過程は保育者も子供と一緒に楽しむことができ、とても勉強になりました。
- 子供と対話的に楽しみながら活動に参加し、あっという間の2時間でした。その2時間も飽きずに楽しめました。
- 「出来栄え」「見た目」「仕上がり」「やり方や使い方」など、技術的なことを評価するのではなく、その子の取り組む姿勢や考え方など、一人一人の子供の内面を具体的に認めたり褒めたりしていくことの大切さを感じました。

アプローチ・スタートカリキュラム

既に完成し、活用されていた幼稚園の「アプローチ・カリキュラム」を土台として、小学校で「スタート・カリキュラム」を作成しました。幼稚園が小学校就学までに育てたい「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を小学校が継承し、幼小の切れ目のない教育を互いに目指しています。

幼稚園の終わりに育ってほしい10の姿と 花山小学校へのつながり

目標・能力(3領域)	幼稚園での実践	小学校へのつながり
知識・技能の基礎	① 関心と意欲 ② 学びの姿勢 ③ 基礎的知識・技能の習得	小学校で学習する基礎となる知識・技能の習得を促す。学習意欲を高め、学びの姿勢を育てる。
思考力・表現力・判断力等の基礎	④ 基礎的知識・技能の習得 ⑤ 社会生活との関わり	基礎的知識・技能の習得を促す。社会生活との関わりを深め、思考力・表現力・判断力等の基礎を育てる。
学びに向かう力・人間性等	⑥ 主体的な学び ⑦ 学びの楽しさ ⑧ 学びの楽しさ ⑨ 学びの楽しさ	主体的な学びを促す。学びの楽しさを味わわせ、学びに向かう力・人間性等を育てる。
学びに向かう力・人間性等	⑩ 学びの楽しさ	学びの楽しさを味わわせ、学びに向かう力・人間性等を育てる。

花山幼稚園アプローチカリキュラム

月	(11月)	(12月)	(1月)	(2月)	(3月)	(小学校1年生4月～7月)
内容	秋の収穫祭 クリスマス 新年会	冬の防寒対策 雪遊び 新年会	春の訪れ おひさま お花見	春の訪れ おひさま お花見	春の訪れ おひさま お花見	小学校1年生4月～7月
目標	季節の移り変わりを観察し、自然の恵みに感謝する。	冬の防寒対策を学び、安全に過ごす。	春の訪れを感じ、自然の恵みに感謝する。	春の訪れを感じ、自然の恵みに感謝する。	春の訪れを感じ、自然の恵みに感謝する。	小学校1年生4月～7月

花山小学校スタートカリキュラム

栗原市立花山小学校 スタート・カリキュラム(1)

令和5年 1月 作成

小学校1年	4月	5月	6月	7月
入学初期までに育てたい姿	学校生活目標 たくましくいよかな心をもち、自ら学ぶ子どもの育成	①基礎的な知識・技能の基礎 ②思考力・判断力・表現力等の基礎	③学びに向かう力・人間性等の基礎 ④好奇心や意欲をもって学習に取り組む姿勢	⑤基礎的な知識・技能の基礎 ⑥思考力・判断力・表現力等の基礎
10の姿と教科の関連	①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥算数・生活科・国語	⑦自然との関わり ⑧数量や図形・構造物や文字などへの関心・感覚	⑨読書や表現の楽しさ ⑩基礎的な知識・技能の基礎	⑪基礎的な知識・技能の基礎
主な活動	・入学式(行事) ・始業式(行事) ・朝の会しよう(学活) ・がっこうたんけん(生活)	・1年生を迎える会(児童会) ・あいさつ・言葉遣い(学活) ・朝の会しよう(学活) ・がっこうたんけん(生活)	・係をきめよう(学活) ・タブレットの使い方(国語) ・遊戯訓練(行事) ・早寝早起きごはん(学活) ・衣類の着脱・着替え(学活) ・学校でたからん(生活) ・遊びながら(生活) ・あさがおそでよう(生活)	・1年生を迎える会(児童会) ・あいさつ・言葉遣い(学活) ・朝の会しよう(学活) ・がっこうたんけん(生活)
大切にしたい視点	あひさつ いっぱい	生活を つなぐ	笑顔 いっぱい	人を つなぐ
指導の具体	「新しい出会いを大切に」 「思いやりの心を持って」	「生活のつながりを大切に」 「笑顔の大切さを伝える」	「学びに向かう力を身に付け、意欲的に学ぶ」 「自分の思いや考えを相手に伝える」	「感謝の心を育て、思いやりを伝える」 「夢を叶えるために努力する」

幼稚園で育ててきた「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の継承

第3次カリキュラム(週細案)

担任が朱書きし、見直し・改善

日	10月(月)	11月(火)	12月(水)	1月(木)	2月(金)
10月(月)	10月1日(月)	10月8日(月)	10月15日(月)	10月22日(月)	10月29日(月)
11月(火)	11月5日(火)	11月12日(火)	11月19日(火)	11月26日(火)	12月3日(火)
12月(水)	12月6日(水)	12月13日(水)	12月20日(水)	12月27日(水)	1月3日(水)
1月(木)	1月10日(木)	1月17日(木)	1月24日(木)	1月31日(木)	2月7日(木)
2月(金)	2月14日(金)	2月21日(金)	2月28日(金)	3月6日(金)	3月13日(金)

第2次カリキュラム

時	生活をつなぐ	人を つなぐ	学びをつなぐ
入	入学式(行事)	朝の会しよう(学活)	道具の使い方(学活)
4	1年生を迎える会(児童会)	あいさつ・言葉遣い(学活)	朝の会しよう(学活)
5	1年生を迎える会(児童会)	あいさつ・言葉遣い(学活)	朝の会しよう(学活)
6	1年生を迎える会(児童会)	あいさつ・言葉遣い(学活)	朝の会しよう(学活)
7	1年生を迎える会(児童会)	あいさつ・言葉遣い(学活)	朝の会しよう(学活)